

# 令和8年度 学校経営計画書

学校番号	100	学校名	沼津市立沼津高等学校・中等部	校長名	伊藤 直美
------	-----	-----	----------------	-----	-------

## 1 スクール・ミッション

文・武・芸の三道鼎立で人間力を磨き、沼津市及び県東部の様々な分野で活躍する志高いリーダーを育成し、県東部の中等教育の拠点として役割を果たす。

## 2 教育目標

あすへのゆめをみつけ、あゆみ続ける人

## 3 育成を目指す資質・能力

つたえて、つながる力	自分の考えをわかりやすく伝え、対話や協働を通じて新しい価値を生み出す。多様な視点を受けとめ、社会に働きかける。
考えを深め、問い続ける力	自分と社会との関係から問いを見つけ、複雑な状況や価値の揺らぎを受け止めながら、探究を深める。
選んで、動く力	課題解決に向けてプロセスを構想し、目的をもって行動する。社会との関わりを意識し、責任ある選択をする。

## 4 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー <small>(卒業までに育成を目指す資質・能力に関する方針)</small>	カリキュラム・ポリシー <small>(教育課程の編成・実施に関する方針)</small>	アドミッション・ポリシー <small>(入学受け入れに関する方針)</small>	
		高校入学時	中等部入学時
困難に打ち克つ粘り強さを備え、失敗を恐れず試行錯誤を重ねながら、主体的に自らの可能性を拓いていく生徒	自ら問いを立て、情報を見極め、思考と表現を深める学びを通して、主体的に粘り強く自己の能力を高める。	自己の資質・能力の伸長と進路の実現に進んで取り組もうとする生徒	6年間を通じて、自分の夢を見つけ、叶えるために努力しようとする生徒
多様な個性を認め合い、他者と対話しながら協働し、課題を見出し解決に導く生徒	対話と協働を通じて、多様な視点と出会い、他者とともに学び合う関係を築く。	学習・部活動・行事に積極的に取り組み、他者と協力しながら成長を目指す生徒	学習・部活動・行事に前向きに取り組み、他者と助け合うことを大切にしようとする生徒
郷土を愛し、グローバルな視点と創造的な行動力をもって、地域社会の創生に参画する生徒	郷土を愛し、誇りをもち、地域とつながりながら、まちづくりに自ら関わり、行動を積み重ねる。	多様な価値観や地域とのつながりに関心を持ち、身近な課題に目を向けようとする生徒	身のまわりや地域の出来事に興味をもち、様々なものの見方、考え方に触れようとする生徒

## 5 スクール・ポリシー具現化の柱

① 主体的に学び、自己の資質・能力の伸長に努め、進路を切り拓く生徒の育成	中高一貫校の特性を活かし、生徒一人ひとりが自らの興味・関心に基づいて学びを深め、進路を主体的に選び取る力を育む。「 <b>自分を知り、未来を描く探究</b> 」を通じて、自己理解と将来設計を支え、キャリア教育や個別最適な学びを推進する。
② 問いを起点に、探究を通じてグローバルに関わり続ける協働的な学びの創造	生徒が自ら問いを立て、情報を見極め、思考と表現を深めながら、地域や世界とつながる学びを創り出す。中高一貫校としての特性を活かし、「 <b>社会とつながる問いの探究</b> 」を学校全体で支える体制を整え、持続可能な社会の担い手を育てる。
③ 多様な才能をひらく、挑戦する姿勢と自己表現力の涵養	文・武・芸の多様な学びを通じて、生徒の個性と可能性を引き出し、一歩踏み出して自分らしさを発信できる力を伸ばす。生徒会活動や部活動、地域貢献などを通じて、「 <b>自分を表す力を育てる探究</b> 」を広げ、豊かな人間力と自尊感情を育てる。
④ 地域や保護者とともに築く、安全・安心な学びの場づくり	生徒が安心して学び、教職員が安心して働ける学校づくりは、すべての教育活動の土台である。地域や保護者との信頼関係を基盤に、物理的・心理的な安全を確保し、共に支え合う学校文化を育む。
⑤ ウェルビーイングを高める、中高一貫の強みを生かした持続可能な学校改革と働き方改革の推進	生徒・教職員・保護者・地域がともに幸福を実感できる学校づくりを目指し、中高一貫の強みを活かした組織改革と働き方改革を進める。持続可能で魅力ある学校運営を実現し、「市沼で学びたい・働きたい」と思える環境を整える。
⑥ 魅力と信頼を育む、開かれた学校広報の展開	学校の教育活動や生徒の成長の姿を積極的に発信し、地域や保護者との信頼関係を築く。市立高校としての特色と魅力を伝える広報戦略を展開し、地域に開かれた学校づくりを進める。

6 本年度の取組

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
① 主体的に学び、自己の資質・能力の伸長に努め、進路を切り拓く生徒の育成	<p>ア 中高6年間を見通したキャリア教育の体系的推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高6年間の進路シラバスの活用によるキャリア形成の支援</li> <li>・生徒の進路希望に応じた各種講座の実施</li> <li>・多様な進路選択を尊重した、生徒一人ひとりの希望や特性に応じた支援</li> <li>・高大連携推進による、地域を支える医療人材の育成</li> <li>・PTAと連携した進路支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアガイダンス、進路講座、共通テスト対策講座の開催（合計年10回以上）</li> <li>・医療看護講座、施設見学等の開催（合計年10回以上）</li> <li>・PTA保護者大学見学、進路講演会の開催（年2回）</li> </ul>	進路指導
	<p>イ 個別最適な学びの推進と学力向上の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部模試やICTを活用した学習課題の把握と個別指導の充実</li> <li>・学力向上委員会による分析結果の教科・学年での活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高3個別指導（希望者全員）</li> <li>・学力向上委員会実施（年3回以上）</li> </ul>	進路指導 各教科
	<p>ウ カリキュラム・マネジメントの推進による学びの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現、学力向上及び本校の特色化に資する教育課程の検証</li> <li>・観点別学習状況評価の円滑な実施を通じた「指導と評価の一体化」の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の検討（11月までに）</li> <li>・各教科で観点別学習状況評価の検討会議（学期1回）</li> </ul>	教務
② 問いを起点に、探究を通じてグローバルに関わり続ける協働的な学びの創造	<p>ア 探究的な学びの体系化と実践の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高6年間を見通した「総合的な学習（探究）の時間」の系統的設計と充実</li> <li>・総合と教科をつなぐ探究的な学びの往還の促進</li> <li>・教科内、教科間における探究の連続性と深化の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究委員会実施（年3回）</li> <li>・6年間プログラムの検証と改善（2月までに）</li> <li>・探究的な学びに積極的な生徒（70%）</li> <li>・教科横断的・中高縦断的な授業の実施（年2回）</li> </ul>	探究 各教科
	<p>イ 地域・世界とつながる探究の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津市内小中学校との連携（「探究エコシステム」整備）</li> <li>・卒業生や地域人材、県内外高校生等との連携・協働による学びの深化</li> <li>・国際理解教育の推進と英語力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生向け探究講座開催（オープンスクール時）</li> <li>・卒業生、地域人材の参画（のべ20人）</li> <li>・先進校訪問（生徒・教員）</li> <li>・オンライン交流等（年2回）</li> </ul>	探究 教科(英)
	<p>ウ 教員研修を通じた探究マインドの醸成と授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学び、探究的な学びの実現に資する授業研究の充実</li> <li>・ICTを活用した授業、習得・活用・評価の充実を目指した授業改善を推進</li> <li>・県内市立高校との合同研修、先進校視察や交流の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学びの教員研修（年2回）</li> <li>・主体的・対話的で深い学びのための問いを明確にした授業の実施（全授業）</li> <li>・県内市立高校合同研修（来校者年間20人以上）</li> </ul>	図書・研修 各教科
③ 多様な才能をひらく、挑戦する姿勢と自己表現力の涵養	<p>ア 自律と自信を育む日常の営みの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の所作を通じた自律的なふるまいの定着</li> <li>・道徳教育・人権教育の推進による豊かな人間性の育成</li> <li>・不登校対策の強化とカウンセリング体制の整備</li> <li>・環境美化習慣の定着と清掃活動の推進</li> <li>・振り返り手帳の活用による自己管理能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の着こなし、挨拶、清掃がしっかりとできる生徒（70%）</li> <li>・カウンセリング室だより発行（年10回）</li> <li>・振り返り手帳の活用で計画を立てることを意識するようになった生徒、振り返りができるようになった生徒、自分が成長したという実感（各80%以上）</li> </ul>	生徒指導 課・カウンセリング 教務
	<p>イ 特別活動、校外活動等への主体的な参画の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会行事の企画・運営への参加促進</li> <li>・学校行事の教育的効果の検証と精選</li> <li>・校外における体験的な学びや探究的な活動の機会拡充と挑戦支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭生徒満足度（70%）</li> <li>・修学旅行検討委員会実施（7月までに）</li> <li>・校外活動へ参加した生徒（高2で20%以上）</li> </ul>	生徒指導 修学旅行検討委員会 教務
	<p>ウ 挑戦と継続を支える、部活動と多様な実践の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に意欲ある生徒の挑戦と継続を支援</li> <li>・部活動等への多様な関わり方を尊重する支援体制を整備</li> <li>・部活動ガイドラインの遵守と休日設定の徹底</li> <li>・一部活一貢献活動、ボランティア活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動及び校外での活動に対する満足度（80%）</li> <li>・部活動休日の完全実施（平日2回、週末1日（中）／平日1回、週末1日（高））</li> <li>・外部主催ボランティア参加者（前年度比10%増）</li> </ul>	生徒指導
	<p>エ 文・武・芸それぞれの挑戦と成果の可視化</p> <p>〈文〉進路希望に応じた実践的な活動の支援と志望達成率向上          〈武〉運動部の大会出場や新体力テストに向けた日々の活動の支援          〈芸〉作品展示や地域イベントでの発信機会の創出と活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検取得率の向上（3級85%、準2級10%）（中）</li> <li>・進路満足度（80%）（高）</li> <li>・大学志望者進学率（90%）（高）</li> <li>・医療看護系志望者進学率（100%）（高）</li> <li>・専門学校志望者進学率（100%）（高）</li> <li>・就職志望者内定率（100%）（高）</li> <li>・運動部 県大会出場3部活（中）、10部活（高）</li> <li>・東海大会出場2部活（中）、3部活（高）</li> <li>・新体力テスト男女優良校（高）</li> <li>・文化部地域との交流（100%）（中高）</li> <li>・沼津市芸術祭出場2部活（中高）</li> </ul>	進路指導 各教科
	<p>オ 読書活動と表現力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な学びを支援するための図書館の有効活用</li> <li>・読書意欲を育て、表現の場を広げる発信活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の読み方講座実施（年度初め）</li> <li>・ビブリオバトル実施（県大会出場者2名選出）</li> </ul>	図書・研修

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
④	地域や保護者とともに築く、安全・安心な学びの場づくり	ア PTA・地域との連携による安全教育・防災教育の推進 ・交通安全教育の充実 ・感染症対策の徹底 ・地域防災への貢献の推進	・交通安全教室実施（年1回） ・救急法訓練の実施（年1回） ・防災講座の開催（年1回） ・生徒の地区防災参加率（50%） ・第五校区防災連絡協議会開催（年1回）	生徒指導 課・カウンセリング 総務
		イ いじめ等の諸課題への計画的対応と未然防止の充実 ・いじめ防止対策基本方針に基づく取組の推進	・いじめ防止に関する講話（年1回）	生徒指導
		ウ 学校施設の安全管理と教職員の信頼の確保 ・安全点検を通じた学校施設の適切な管理 ・不祥事根絶に向けたコンプライアンス意識の涵養	・学校施設の安全点検（学期1回） ・定期的なコンプライアンス研修実施（職員会議ごと）	事務室 管理職
		エ 保護者・地域との協働による学校運営の質的向上 ・PTA会員との絆の強化と協働的な学校づくりの推進 ・PTA役員会等の効率的運営と質的改善 ・学校運営協議会による地域参画の推進	・PTA協力による学校行事運営（年4回） ・PTA役員会等の回数精選 ・学校運営協議会開催（年3回）	総務 事務室 管理職
⑤	ウェルビーイングを高める、中高一貫の強みを生かした持続可能な学校改革と働き方改革の推進	ア 中高一貫の強みを活かした組織体制の整備と人材育成 ・中高の絆を強める6年間の指導体制の充実 ・中高接続の強化と人事交流の推進	・シニアティーチャー実施（年3回（6日間）） ・中3あゆみ学習会実施（数学、英語ともに3回以上） ・高校模擬授業（年2回）、面接（年1回） ・高校授業参観（年1回） ・ランチミーティング（年1回以上）	図書・研修 接続
		イ 教職員の働き方改革と職場環境の改善 ・教職員のワークライフバランスを支える勤務環境の整備 ・心身の健康と教育の質を両立する、持続可能な働き方の推進	・完全下校時刻（午後5時（中）／午後7時30分（高）） ・定時退勤日（週1回）、教員完全退庁時刻（午後8時） ・時間外在校等時間（月平均45時間以下） ・夏季休暇取得率（100%）	管理職
		ウ 三者の声を活かした学校経営の改善と共創 ・校務支援システム（Cラーニング）活用による保護者との連携 ・生徒・保護者・教職員による三者による学校評価の実施 ・評価結果を活かした改善・充実のサイクルの実施 ・多様な声に耳を傾け、個に寄り添い、共に学校を育てる風土の醸成	・Cラーニングを活用した学校評価の三者比較分析実施 ・学校評価アンケートにおける教育活動への満足度（70%）	管理職
⑥	魅力と信頼を育む、開かれた学校広報の展開	ア 学校の特色や教育活動の魅力を伝える広報の強化 ・ホームページやSNS、地域メディアを活用したタイムリーな情報発信 ・小中学生や保護者、地域の方々に「市沼らしさ」を届ける広報の実践	・ホームページ、公式SNSによる発信（日平均1回以上） ・広報資料の配布先拡大、あゆみだよりの発行（年20回）	総務 管理職
		イ 小中学校とのつながりを意識した広報機会の充実 ・小中学校への情報提供の工夫と継続的な関係づくり ・学校説明会等の充実による本校教育への理解促進	・一日体験入学（年1回（中高）） ・オープンスクール（年2回（中高）） ・学校説明会（年2回（中）／年3回（高））	総務 管理職